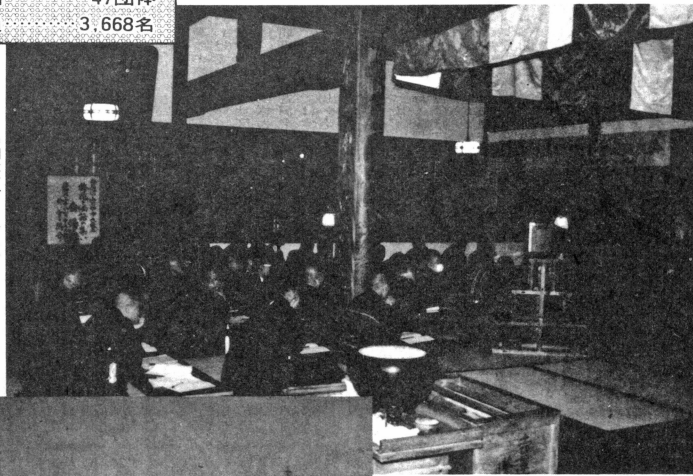


伊豆三原山噴火による被災地の皆様に心より御礼申し上げます。

団体加入	36団体
名簿提出	47団体
登録会員	3,668名

▶中国大会山口県萩



▼ソフトボール大会(東海)



発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区ミ
2-5-2 曹洞宗宗務所内
発行責任者 吉岡輝彦
TEL.03-454-5411

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

各地で研修会開かれる

各地の曹青から「研修会開催」のニュースが頻りに届けられるようになった。
今回、報告を受ける中で各曹青の研修内容が大きく変化してきていることに気付く。
全曹青では研修テーマ「食」を今年度から「食」それは生命・実践への道」と発展させ各地の研修を応援してきたが各地でこれに込める内容が続いているのである。
全曹青の主催する後期禅の集い研修は山口曹青を中心とした中国曹青の

全面協力で「宗教者とカウンセリング」と題して開催された。中国曹青では昨年度大会も医療面を取り上げていたが、今回の内容も今後の宗教活動に大きな示唆を与えるものである。また、東北曹青の大会でも「青年宗侶安心の再考」を掲げ基盤の確認が行われた。また、宗外講師から「いのち」の問題の講義を受けている。

「生命」の問題は青年宗侶から切り離せないテーマとなったといえよう。この時期の大会は東海曹青はじめ各地で親睦ソフトボールが開かれていた。ユニークな綱引きの結果も青森から届いた。また、単位曹青からも佐賀曹青の「因脈会」、宮崎曹青の「禅に親しむ会」など若さを結んだ会が続いている。

目次

団体加入三十六団体、各地で大会	3
曹青活動に思う	2
研修「精進料理とその心」	4
此寺に和尚あり	5
インタビュー デュオ・菩提樹	6
再訪日航機墜落事故現場	7
奈良県の山中にあって、今日程各宗青年仏教徒達の自覚と活動に共鳴を感じたことは無い。仏教界内部の胎動が時に共に社会へ弄流となつて時代の灯びとなるが、そのことを想うのである。自己の脚下を凝視しつつある者が視界を外に向ける時、かつて仏教界は高深の濃霧の中に沈滞し、儀式の練磨にのみ終始していた感があった。爾来早や五十年の星霜を見送った。仏教徒として袈裟を身に纏ひ、大乗菩薩僧として自己を内省し得るや、今や今とすることは、この一事である。ジャーナカ物語は熊虎に己が身を供した男、飢えの老人に己を供する為焚火へ身を投じた白鬼、端的に大乗菩薩僧の在り様を画いている。自らの生き方への警鐘として、内心に秘めるか？子供向けインソフの類いとするか？お互いに関はれているのである。飽食の今を生きる我がが、この日本の風土に押し流される恐ろしさを感じる。大学を出ると本山は一年半年、先づ食糧を転じるが急務と教師が社会への第一歩では？	

破草鞋

破草鞋子よ、徒らに他の砂ごを数えるなかれ汝、今日何を為し何を思いしや、と問うべし

て、今日程各宗青年仏教徒達の自覚と活動に共鳴を感じたことは無い。仏教界内部の胎動が時に共に社会へ弄流となつて時代の灯びとなるが、そのことを想うのである。自己の脚下を凝視しつつある者が視界を外に向ける時、かつて仏教界は高深の濃霧の中に沈滞し、儀式の練磨にのみ終始していた感があった。爾来早や五十年の星霜を見送った。仏教徒として袈裟を身に纏ひ、大乗菩薩僧として自己を内省し得るや、今や今とすることは、この一事である。ジャーナカ物語は熊虎に己が身を供した男、飢えの老人に己を供する為焚火へ身を投じた白鬼、端的に大乗菩薩僧の在り様を画いている。自らの生き方への警鐘として、内心に秘めるか？子供向けインソフの類いとするか？お互いに関はれているのである。飽食の今を生きる我がが、この日本の風土に押し流される恐ろしさを感じる。大学を出ると本山は一年半年、先づ食糧を転じるが急務と教師が社会への第一歩では？

全曹青の組織変遷

団体加入は三十六団体

名簿提出団体は四十七団体に

石川、富山、福井、長野からも
名簿提出を受ける

今期の全曹青執行部は組織の充実を第一に掲げ、各曹青に団体加入を依頼して

全曹青の期待は高まる
更に広報活動の充実を

今回の組織再編で各曹青ともに「全曹青に対する理解が進むことにより、全曹青への期待も高まって来る」ということになった

今年度の活動が頻繁に報告されるようになってくる。互いの理解連絡を取りあうためにも「曹青通信」の果たす役割はますます増加するものと思える。なお「曹青通信」は団体加入の名簿提出された地区曹青には個人あてに送付される。

現在、曹青会未結成の地区県は二、三を残すのみとなっている。宗門の担い手として会員諸兄の一層の理解協力をお願いしたい。

全曹青の期待は高まる
更に広報活動の充実を

全曹青の加入が理想とはいえず、過去の行きさつや、各曹青の事情から、二様に理解が得られなかったのはなかったが、起動二年目にして、対象五十八地区（未結成地区も含む）中、三十六団体の団体加入、さらに、今期事業の「曹青宗青年会会員名簿全国版」の作成ではすでに四十七団体から会員名簿の提出を受け、登録会員は三、六百名となっている。また、未加入の多くの団体でも来年度の加入を考慮したけるようになった。

個人加入も含めれば沖繩を除く全県に登録会員が存在し、当初目標はほぼ達成したといえる。

今期、この事業を急速に進めることが出来た最大のポイントは「全曹青は各地の曹青を統轄する機関ではなく、互いの連絡機関であり、地域曹青によって運営される組織」という方針が理解されることが根底にあると思える。これは組織改編とも地区曹青代表者会議（近畿、評議員の益益）が百パーセント近い出席をいたっていたことでも裏打ちされると思う。

組織充実には宗門・青年会に必須
全曹青の発足以来、各地方曹青との位置づけを明確にすることはそれだけの執行部に課せられた重要な課題であった。今期の執行部は、過去五期十年にわたる全曹青の歩みを踏まえ、「今こそ組織の確立を計ることが急務」として実行に移した。それは、宗門にとつて青年宗侶はすでに教化の第一線であり、

今年度の活動が頻繁に報告されるようになってくる。互いの理解連絡を取りあうためにも「曹青通信」の果たす役割はますます増加するものと思える。なお「曹青通信」は団体加入の名簿提出された地区曹青には個人あてに送付される。

現在、曹青会未結成の地区県は二、三を残すのみとなっている。宗門の担い手として会員諸兄の一層の理解協力をお願いしたい。

全曹青の期待は高まる
更に広報活動の充実を

第十回 東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

東北大会に集う

ソフトボールの行方

九州大会一佐賀辛勝

中国大会一赤ヘル軍団圧勝

観戦記 九州リーグ戦

●東海大会一三重が連覇

●東北大会

山形曹青(細谷邦憲会長)

※近畿大会は5月に行なわれた。



「置賜曹青(彌地豊宗会長)」
 全員数 七十名
 十二月十五日、歳末助け合い托鉢一
 月二十四・二十五日には「二供とのふれ
 あい、接し方について」の研修会が行な
 われる。



「庄内曹青(佐藤憲宗会長)」
 全員数 八十名
 墨嶺展など各種研修会を催し、好評で
 ある。

「宮城曹青(我妻耕道会長)」
 全員数 二百七十名
 十月十三日、十九日、第二回東南ワシ
 ア難民救済古着キャンペーンが行なわれ
 一般から約二十万着の提供協力を得た。
 タイを訪れ贈呈式が行なわれる。
 十二月には難民キャンプに代表十名が
 十二月には難民キャンプに代表十名が
 四回難民救済チャリティイベント、同じく
 十一月十五日にはコンサートが開かれた。
 十二月にも、研修会、歳末助け合い托
 鉢、二月耐寒坐禅会が一泊二日で開催さ
 れる。
 広報紙「無聖」は年四回の発行。

「福島曹青(補 俊道会長)」
 全員数 百名
 カレンダー作成が第六回目を迎え、今
 年度は二万三千部を発行する。県下四支
 部の会は構成されているが、十一月には
 第二回支部主催にて研修会を実施した。
 二回部の茨城曹青との交流ソフトボ
 ル試合は今年度は三試合で二対一で勝利
 をおさめた。

曹青活動に思う

曹岐青の活動から

曹洞宗岐阜曹青委員長 岩小龍峰

岐阜県は「飛山濃水」と称されるが如
 く、古来より大自然に恵まれた環境から
 仰が芽生え、賑々として今日まで受け継
 がれた宗教心には驚くものがある。昔か
 ら、仏教王国とも言われ古刹寺院も多
 い。近年とみその業が詳細に記されてきた
 巴空上人や権ヶ岳の開山である播隆上人
 などは、そうした信仰の風土の中から輩
 出した我が岐阜県の偉大な宗教家である。
 宗派的には、浄土真宗、臨済宗が多い中、
 我が曹洞宗は二百五十ヶ寺、全寺院のお
 すが一割強である。その曹洞もかつては
 寺領を持ったものが多く、今日における

「全曹青後期禅の集い研修
 中国曹青山口大会を開催」
 中国曹青 鈴木東純会長・清水賢隆理事
 十一月十二日、萩市亨徳寺で開
 催の大会は中国各県から七十余名、九州
 曹青からの参加も盛大な会となった。
 近年、各地で電話相談あるいは面接
 相談が盛んになっているが、現代人は社
 会が複雑になっていくにつれ多くの悩み
 を持ち、宗教家としてその対応に迫ら
 れている。
 今回の中国大会は昨年の医師による講
 回の研修会の実施が主な仕事である。そ
 の他、宗務主催事業に対する積極的参
 加など年々成果が上がるにつれ、充実
 の一途を辿っている。なお、子ども禅
 の集いは、各単位で実施し、今年度も
 県下十会場約六百名の参加を得て無終
 了した。地域にねざした活動ということ
 で、今後この方針に実施していくこと
 である。
 なお、今年度より、組織強化の一貫と
 して、事務局担当・勝友誌編集担当の出
 版担当がブロックを制度し、三つのブロ
 ックが常に活動している方策を取った。
 独自の活動を展開

「東海曹青は岐阜で大会」
 東海曹青(今川輝隆会長・矢部響山理事)
 十月十五日(土)にわたりに、第十の大
 会と曹洞宗岐阜曹青年会の十周年大会を
 合せて開催した。
 また、総投戒運動に協賛しての「青年
 投戒」も主催し、成功裏に終了。前掲
 「葬送儀礼」に関しては、県内宗侶のア
 ンケートに答えたものであり、宗学と民
 族宗教との接点を摸索した時宜に即応し
 た実りあるものであった。
 十周年に「禅を聞く会」を開催
 去る十月には、曹青十周年を祝して、
 東海大会と合わせて会場を岐阜市に設け
 実施した。前掲は全曹青の会長ほか来
 賓多数御臨席のもと、東海地区の仲間達
 からも祝福をいただいた。翌日の仲間達
 ボール大会も優勝と花を添え、いよいよ
 一禅を聞く会」の会場に臨んだ。曹青
 されてきたが、一般大衆の一つの足掛
 かりとして実行した講演会には少くも安
 があった。また、岐阜県は少都市とな
 言いがたい。しかし、当日会場は満堂に近
 い聴衆であられ、杉山二郎先生の熱弁
 と根柢大成老師のユーモア溢れる神話は
 拍手が止まらぬほどの感動を得た。
 やつてよかったと舞台の袖で仲間達と顔
 を見合わせた。今後とも、何かと挑戦、
 民衆の心に一石を投じたいと願う曹青活
 動である。

「九州曹青」
 佐賀曹青(向 隆光会長)
 創立二十周年を迎えた佐賀曹青では十
 月十二日に梅田禪師を拝請し記念因縁会
 を開いた。
 厳密な行事は因縁授受で感謝する成弟
 で理まりまことに「み仏との出逢い」に
 した。講師として招いた作曲家遠藤実
 氏の体験を基にした人生講話は多くの入
 に感銘を与えた。子細は次号で紹介。

「東海曹青は岐阜で大会」
 十五日の午後、岐阜市内のホテルに集
 合し「宗務庁の小田原利総務部長より
 「曹青に望む」として講演いただいた。
 講師は宗務では現職で活躍中であり、
 特に教化方面では曹青設立以前の「禅の
 集い」運動などに当初より参画されてい
 ただけに曹青の流れにも詳しく、また、
 ご自身の経験されたことを中心として
 の講演は時代の差こそあれ、聞き者に僧侶
 の在り方考えさせられるものであった。
 翌朝のソフトボール大会は別記の通り。
 併設の一般講演は十六日の午後より、
 岐阜市文化センターに杉山二郎先生の
 「シルクロード」とみ仏たら「又、禅を聞
 くの型式をとり、椅子坐禅の後、元大
 本山總持寺布教部長根柢大成老師の講話
 で参集者をして禅の宗風を満喫せしめた。

部では構成されているが、十一月には
 第二回支部主催にて研修会を実施した。
 二回部の茨城曹青との交流ソフトボ
 ル試合は今年度は三試合で二対一で勝利
 をおさめた。



水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

流し燈籠

◆特長◆

- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分位水面上に浮き、その後完全に溶解します。
- 無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がありません。(諸官庁許可済)

1基(大)700円 (小)360円

株式会社 光和 TEL. 7251

水に浮かぶ玉ローソク

火気に対しては、絶対安心です。戸外でも、ご利用できます。

空・風・火・水・地の五色入 [五如來様]

高さ25cm特注品極上磨き(化粧箱入り)
 1対(2基)大玉10個付
 29,600円
 お施灯鬼用(5基)大玉30個付
 68,000円

●ご寺院専用真鍮燭台
 ①平素お詣り時の灯明用
 ②ご法要時の補助灯明
 (視聴堂配布用)

神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17
 0466(33)6301(代表)
 (36)4111(直通)



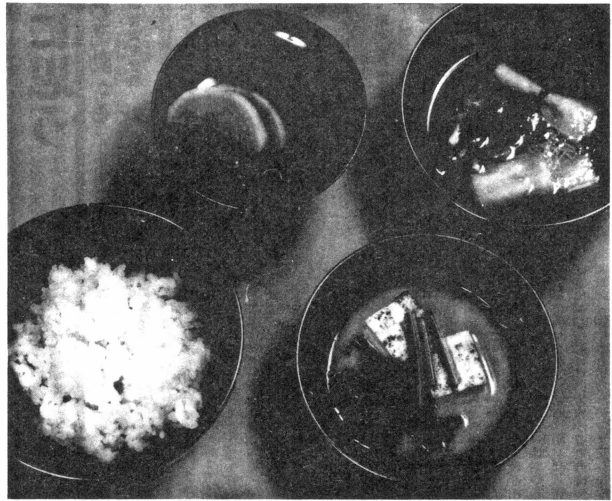
可睡斎典座 全国曹洞宗青年会会長

桜井孝順

と料理と心 進料 精

曹洞宗の大本山平等寺の大庫院に大きな修行僧が、その下で案内の身(身をけすり)人につくさん(すりこぎ)の

その味知る(心を尊し)と語られておられます。毎日毎日すり鉢の中で身をすりおろしている姿は、身はすずらされて、人の為に美味しいものを作り上げています。家庭においても主婦の皆さんが、夫の為に、子供のために作られている姿、また職場にあつて多忙の人たちの食事を作られている姿もまさにこの通りでありましょう。今日、皆さんと精進料理の勉強するにあたり、精進とは何であらうかと考えたいと思います。物の生命を大切にすることは、物をつくる人の心構えと物をいただく人の感謝があつてこそ生かされてくるのでありま



と申しております。典座とは多くの僧たちの食事を作り調えることをつかさどることであり、全身をあげて務めよと典座教訓に示されておられます。さらに食事を作り調える調理場の仕事、つまり我々の日常生活の中に真の道、真の人格完成の道があることを、永平寺の御開山の元禪師は教へておられます。

調理場の仕事を典座として行うには、お役目だからするといふのではないけません。そんな心かたは、ただ単に苦勞するだけで何の益もありません。与えられた自分の仕事として自覚を持って、しかもこの事が修行であるとしてよくこなすもこの事がやらなければならない。それがやがて理想の境地へ進む大切な要素となるという信念を持つてするならば、毎日の食事にしても、常に工夫をこらし、食事をいただく人をお喜ばせることではないでしょうか。そうすれば、できた食物の味もよく、それをいただく人々も感謝し、心から喜んでもらえるのであります。また心構えとともに人にいただいても、料理は、目で味わい、鼻で味わい、舌で味わうもの、料理人は、五味五法、五色、三徳に心がけねばなりません。五味とは、塩・酢・醤油・甘・辛い、塩・苦い、辛・煮る、むす・揚げ、五法とは、焼く・煮る、むす・揚げ、五色とは、赤・青・黄・黒・白、以上が食物に感じ、程よく調えられ、また、軽軟(きよなな)軽くやわらかい、浄潔(じよけつ)きれい、如法(じよほつ)ていねいに作られて、三徳が同時に備わっていることが大切であります。

我が曹青を語る(6)

愛知県第一曹洞宗青年会



会長 中島徳禪

愛知県下の宗門寺院数は約千二百余か寺に及び、宗務所も三か所設置されている。この第一宗務所は旧来の尾張地区から知多半島部分のそと、名古屋

豊田、小牧などを所轄しているが、管内寺院数の六百余か寺は名古屋最大であり、文字通り宗門の金城湯地となっている。愛知県第一曹洞宗青年会は五十二年に全曹青結成を呼び出して発足したが、この地にはすでに、時の大本山永平寺名古屋別院の後進形であり、教化主事でもあった渡辺月正老師を中心に「禅心会」という教化組織が作られ「禅の集い」などを中心とした活動が展開されていた。青年会はその流れを引き継ぎ、再結成されたものといえる。

会の活動の目的に「相互の連携」のもとに「布教化活動が大きく掲げられている」も「禅心会」の流れを汲むからである。即ち、ここの名古屋地区の寺院活動は月参り代表

「あなたの心におしゃがさま」



されるように日常低の活動で繁盛される。この中であつて若い力を結果し、「宗門ここにあり」と獅子吼するのが我が曹青なのである。
「花まつり」
この数年、全力を傾注している活動に「花まつり」がある。今年第六回を数えたが、講演会、観劇会、法話会と実績を重ね、近年ではデパートの協力を得、名古屋の繁華街で開催するようになった。初めてのデパート開催の時は相互に不安が先立ち打ち合せでは何度も断念しかつたが「子ども」の他宗派との交流を図る。この九月には神道青年会とともに宗教者同志の相互理解と交流を願つて「愛知県宗教者協議会」を計画発会させた。すでに前述の「花まつり」で仏教系宗派の協力を得ているが、人間にとつて必要な宗教を語るには他宗派のことも学び、共に前進する姿が必要に思つたのである。
寒風の街頭で托鉢
年末には托鉢を予定している。水風の伊吹おろしは吹き荒れども、参加する会員の熱い心までは浸透できない。また、人の心には、青年宗侶の誇りを一層感ずるものこの托鉢である。
青年宗侶という言葉は次代を背負う言葉ではない、すでに宗門の第一線であり、同行同修の法友が我が曹青なのである。

役員紹介

- 会長 中島徳禪
 - 副会長 太田善久
 - 副会長 大洲久典
 - 副会長 柿本大真
 - 専務局長 高瀬裕典
 - 専務部長 伊藤正康
 - 専務部長 田中祐三
 - 専務部長 別府良孝
 - 渉外部長 堀部明宏
 - 企画 計西村俊孝
 - 金庫係 神野哲州
- もに備わつてまいることでしょう。料理人には、人々の生命の糧をつくる大きな責任があります。上記まで作る人の心構えを述べてまいりまして、今度はいただく人の感謝の心を述べてまいりましょう。支那の百丈禪師は、「一日食らわす」

という言葉を残しております。食事をい
たくなく、一日の仕事を一
杯、ありがたきさすかるもの
であり、それがありがたいことでありま
しょう。

でき上がった食事をいただく時に、感
謝することはいうまでもなく、社会・人
類の福祉を常に念願している仏道の真髄
が至るところにあらわれております。
食事をいただく前に唱える五つの教訓
「五観の偈(うた)」があります。
一つは功の多少を語り彼(か)の
来処を願ふ。

二つは已が徳行とくときょうの
全欠を付(は)つて供(く)へに
三つは心(しん)を防(ぼう)ぎ過(とが)
を離(はな)れることと食を宗(しゆ)とす
四つは正に良業を事とするは形枯
(ぎようこ)を療(りやう)せんが為(ため)なり
五つは成道(じやうどう)の
故に今の食(たべ)はさうく
分(わか)りやすく申(まを)しとす
今(いま)この食(たべ)をい
今(いま)の食(たべ)をい
今(いま)の食(たべ)をい

研修 詩偈と禪

山口晴通



お粥の功德

お寺の朝は早い。まど薄(うす)らい中(なか)坐(ざ)禪(ぜん)がはじまる。今日(けふ)一日(いつにち)の奥知(おくち)を呼びおこす時(とき)である。今日(けふ)一日(いつにち)の奥知(おくち)を呼びおこす時(とき)である。今日(けふ)一日(いつにち)の奥知(おくち)を呼びおこす時(とき)である。

お粥(かゆ)の功德(とく徳)を知(し)りた
たいて、今(いま)、お粥(かゆ)の功德(とく徳)を知(し)りた
たいて、今(いま)、お粥(かゆ)の功德(とく徳)を知(し)りた

今回は、香誦(かうじゆ)の重要な部分(ぶぶん)を占(と)める四
六文(よむぶん)のなかで、隔対(くわたい)六句(ろくく)について説
明(めい)する。前(ま)回の律詩(りつし)における対句(たいく)の法(は)
をささらに一歩(いっぽ)進(すす)め、お互(たがひ)に句(く)を隔(くわ)てて対
偶(たいご)をなしている文(ぶん)である。その形(かたち)が六種
類(るい)であるので「隔対六体(くわたいりくたい)」という。以下、
その実例(じつれい)を、二相三仏(じやうさんぶつ)における疏(す)そ
の他(ほか)から採(と)用(よう)して説明(せつめい)する。

(1) 輕隔句(けいごく) 上(う)が四字(しじ)、下(くだ)が六字(ろくじ)から十
二字(じふにじ)までのもの。
眼藏遺韻(がんざういゆん) 興起綿密相道(きうきめんみつじやうだう)
仏光秘録(ぶつくわひこく) 宣揚給達神風(せんじやうじつたつしんかふう)
眼藏の遺韻(いゆん)は、綿密(めんみつ)の祖道(そだう)を興起(きうき)、
仏光の秘録(ひこく)は、給達(じつたつ)の神風(しんかふう)を宣揚(せんじやう)す。

(2) 重隔句(じゆうごく) 上(う)は六字(ろくじ)から十(じ)字(じ)に
いた
上(う)は六字(ろくじ)から十(じ)字(じ)に
いた
上(う)は六字(ろくじ)から十(じ)字(じ)に
いた

(3) 疎隔句(そごく) 上(う)は三字(さんじ)、下(くだ)は五字(ごじ)から九
字(きゅうじ)におよぶもの。
赤糸糸(せきしと) 透過金剛圍(てうがこんごうい)
淨螺練(じやうら) 吞却業緣(とんけつごう縁)
赤糸糸(せきしと)、金剛圍(こんごうい)を透過(てうが)し、淨螺練(じやうら)
、吞却業緣(とんけつごう縁)を吞却(とんけつ)す。

(4) 密隔句(みつごく) 上(う)は五字(ごじ)から九(く)字(じ)におよぶ
もの。
密隔句(みつごく) 上(う)は五字(ごじ)から九(く)字(じ)におよぶ
もの。
密隔句(みつごく) 上(う)は五字(ごじ)から九(く)字(じ)におよぶ
もの。

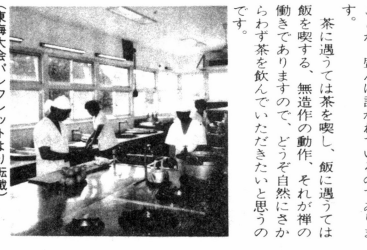
(5) 平隔句(へいごく) 上下(じゆうじゆう)の字数(じすう)が同じ(おな)じのもの。
天下出道場(てんかだうだうじやう) 水瀆仰古佛徳(すいじやくこふつとく)
日域無雙死(にちいきむさうし) 常報至尊恩(じやうはうしすん恩)
天下出道場(てんかだうだうじやう)、水瀆仰古佛徳(すいじやくこふつとく)
、日域無雙死(にちいきむさうし)、常報至尊恩(じやうはうしすん恩)

(6) 雜隔句(ざつごく) 上下(じゆうじゆう)の字数(じすう)に定まりがない
もの。
彩鳳舞舟(さいほうぶしゆ) 打破涅槃古鏡(たいはた涅槃こくきやう)
清風拉明月(せうふうらつめい) 脱却生死苦輪(だつげつしじくりん)
彩鳳舞舟(さいほうぶしゆ)、打破涅槃古鏡(たいはた涅槃こくきやう)
、清風拉明月(せうふうらつめい)、脱却生死苦輪(だつげつしじくりん)

茶と禪の心

掛川市法泉寺 笛岡 教雄

三昧(さんまい)に入ることを心得として深く禪味
を悟り、茶禪一味(ちせんいちまい)の心境(しんけい)にして、茶道
の和敬清寂(わくけいせいじやく)の精神(しんぱん)を得(え)て、わすか四
思惟(しゆい)の茶室(ちあむ)に坐(ま)しなから、深山(しんさん)幽谷(ゆうこ)に在
る思(し)を「絶(た)えん」に聞(き)こえず釜(かま)の湯(ゆ)の煮
える音(ね)「その音を松風(しょうかふう)と聞きなして、
「われ」が大自然的(たいてんじきたん)に拡大(くわたい)され、
天地(てんち)一如(い)の妙境(めうけい)をきりひらく。これが茶
道(てうだう)の「三昧(さんまい)」の境地(けんぢ)であって、禪(ぜん)の境界
と完全に一致(いち)するこの点をきいて
いうのです。



（東海大会パンフレットより転載）

人物紹介 此寺に和尚あり

新潟県 宗現寺住職

乙川暎元師

福島県 長照寺副住職

楠 俊道師

新潟県青青足是当初からの中心的人物の一人であり、何事につけても精力的で、且、アイデアマンである。捉え処の一味違う人ともいえる。

県青青が発足して最初の大事業「良寛和尚百五十回忌奉讃」の各種行事を大成功のうちに事務局長としての手腕は高く評価された。[坐・ハンگری]の名付親でもあり、宗門の秘宝を一堂に集めて公開した「禅展」一般市民百名を集めた茶室台現下御提唱による「大坐禅会」等常に県青事業の仕掛け人である。

「鶴ヶ城・白虎隊」明治維新の町として全国にその名が知られる会津。現代では観光東北を代表する町、会津……。

今回は、現会青會長のおびぎ元、福島県曹青會長楠 俊道師を会員諸師に紹介しよう。

会津の名山磐梯山を背に、広々と水をたたえる猪苗代湖。この湖水のそばに、師の師廟寺、長照寺はありませう。長照寺は、細園寺で世界的に有名な野口英世博士の菩提寺であり、博士が生まれ育った家は寺のすぐ近くにありませう。

師は、現在副住職として、その任を果たされてい

野口博士が、小さい時に受けた手のやけどを克服した話は偉人伝でも知られるところですが、会津人には、困難に立ち向う不屈の闘志が振打つています。

師もこの点、例外でなく、外見は学生時代から、長老。などといわれ、オジシキい向きも（？）ありませうが、内面は繊細で熟慮断行型。師を知るものにとっては名相談役でありませう。

駒大の大学院修士、博士課程を修了。また、宗学研究所が途中で事情により休所の止むなきにたつた時は最後の研究員でもあった。師は宗門の本領を参究された学究の徒でもありませう。

地元は帰るや、さつそく有志による輪読会「竹林会」を開催し、その豊富なる開分野の成果を発揮されて参加会員から

遠藤英氏作曲の「般若心経」の曲に振り付けをし、自宗現寺保育園の園児に指導、子供達の舞は常に見る者の心を魅了する。県都新市の中心部に位置する自功も、伝光会と称する接心会、年間を通しての梅花講、寺小屋夏の子ども合唱といった教化活動に加え、客観、総構造り山門建立など、師のなすこと枚挙にいとまがない。

しかもこれらは三十才代前半でこなしてきた。

一方、こうした師のエネルギー豊富な活動、大胆さの裏には実に繊細な神経の働きがある。

師が人に接する時一言一句一挙手一投足に細かく気使いが見られるのである。そして、御老僧から青年僧まで宗門関係は勿論、社会的にも各分野に巾広く知己を得ている。聞き及ぶところでは、師の御師父、故 乙川蓮味禪師は記憶力抜

宗務所長は



38才

群の方で、五十年前に一度會つただけの人の顔を覚えておられ、数多い県内寺院についても、寺院名から住職名、所在地まで即座に答えられたとか、師もまたその器を感じさせるのである。

師は現在全曹青の北信総理事であり広報担当理事である。こうして日常の活躍、人柄が認められ、このたび、諸老師方から推されて新潟県第一宗務所所長に就任された。当年、三十八才、おそろしく全国一の若い所長の誕生である。心から応援の拍手を送りたい。

また、別の角度から見れば、スポーツ趣味も多岐にわたる。スキー、水泳、野球にゴルフ、また、決してカーキチではないが大層発音までも取得（いすゞも口級？）といわれる程、いづれもやかな、心和家庭の主で、子宝に恵まれ一男四女の父親である。

は適切な指導を感謝されています。

こうした人物でありませうが、県内会員がはじめておはすは、推されて金長に就かれたのもむべなることといえませう。

ところで、福島県曹青は昭和六十二年度東北会会開催県として、現度会長を中心に準備が進められています。

「自分の代に引き受けた集金の無事円成のために今は、一生懸命やるしかない。会員の手を結束しよう」

(談)

と呼びかけておられるように、真に師は、明日をみつめて今をどう対応していくか行動理念にして日常底を透りいられます。

東北は、白河以北は「ちのおく」といわれていた時代もありましたが、そのような時代は夢のかな……。

福島に楠あり、会員一同師を盛り立てて明日の青年会のために頑張っていると今をどう対応していくか行動理念にして日常底を透りいられます。

曹洞宗岐阜県青年会編

曹洞宗日課修行聖典

この聖典の特色は

- (一) 大きくそのまゝ両面反紙になること。
- (二) 朝課から始まる施戒鬼会など経典と回向が順次を追って記載されていること。
- (三) 導師の進退、待者の進退まで記入してあること。(朱筆)
- (四) 印刷物ではあるが、筆書きで寺院什物にもふさわしい。

などが上げられよう。

特に(三)などは勉強になり便利である。修証義はじめの日常経典は網羅されているので、この冊で寺院の通常の行事は曹青の発刊物は曹青の宗侶に限る、宗侶の立場からの編集のため、各地で重宝されたい。かゆいとこに手が届く本である。今回も、時節を得た発刊といえよう。今回の浄書は佐藤憲定師

申し込み
曹洞宗岐阜県青年会
〒五〇〇 岐阜市南町二六
本堂計内
会計 時田泰俊
頒価 30,000円

心をつたがやす

小島昭安 著

法蘭の花たば

筆者はさきに、法話集「この道を行く」(転法社)を上梓された。その内容は副題に、年間行事別法話集とあつたように「日常の暮らしの中で利用できることを目的とした。今回はその姉妹編ともいえる内容で、法話三十七編で構成されている。特にタイトルで「仏教語」をわかりやすい言葉に直しているところには日頃著者が「わかりやすい法話」をかかげる真骨頂が出てゐる。即ち「愛語は心にしみる言葉を」発心は人々を救うために「正命」はさわやが生き方といった具合である。会話調が多く読んでいるそのまゝ法話会場に居るような気持ちになつてしまふ、好著。法話の勉強に。

頒価 1,600円
大本山 総持寺出版部

図書出版 新製品紹介

葬儀聖典

井上義三郎 著

葬儀が葬儀社にゆだねられるにつれ、宗門の授戒葬儀も形骸化しつつある。また、儀式経典の解説もないため、参集者も意義のわからないまま時を過すことになつてゐる。これを通過すだけでも葬儀式に対する檀信徒の見方変つてくるとする、参考にされた。

頒価 200円

曹洞宗専司 法衣・仏具

竹 老 海

〒604 京都市中京区富小路三条南入 ☎京都(075)221-3033
郵便振替 京都 7-87番 第一勧業銀行京都支店普通口座1256360

散歩道

シンセサイザーで禅の世界を
デュオ 菩提樹

「スポーツ感覚の坐禅がいい」

本年五月には大本山浄土宗法堂で、また、十一月には大本山總持寺でシンセサイザーを使った「コンサート」を開き、「禅の世界」を表現しようとする。デュオ「菩提樹」。宗務庁主催の「禅の音楽」でも優雅な音楽を奏で、聴衆をしてしばしば「別世界に案内された」といふ。「禅が私達の音楽の基礎」と語す。彼等は「一体どんな禅経験をこの心で受けたか。また、彼等の心に「禅の世界」はどんな影響を齎したかであろうか。名古屋の麗澤寺の「禅の音楽」を聴かされた二人は「禅と音楽」について語っていた。

■定期的な坐禅を続けているようにもすが、

「毎朝、金沢の大乗寺で、板橋興宗老師から指導を受けています。坐禅のきっかけは、演奏旅行で金沢公演があり、知人の紹介で大乗寺と出会って以来です。もともと、瞑想は続けていたんです。剣道部の出身で、試合の前などに皆で座っていたので、正座してみると精神的に落ち着けることを知っていましたから。」

それが、僧堂を見てまわらずに「座りたい」と思いました。「ああ、これだな」という感覚で。気が付いたら二人とも座っていただけで、私達のコンビは六、七年前に結成したのですが、この坐禅といった精神的な面を追求していなかったら多分、解散していたでしょうね。

■座ってみたいかがでしたが、何か得られましたか。
「違和感はなかったですね。想像通りの世界でした。作法も厳になりませんでした。大乗寺では寝起、雑巾かけも雲水さんと一緒でしたから、もう、体験という感情を越えて一休のような、坐禅によって必要ありません。皆するといひ。ただ、...何を得られたといわれ

るに困りますね。でもいいのです。その後、音楽を通して何かを訴えられるのですか。

「心ですね。精神的な浄化を願えればいいですね。今の世界に必要だと思うのです。私達は音楽家だから音楽を通して人間本来の姿はそとじゃない。」

訴えられますね。

私は東京して、ただ音楽のこをしたくてロックバンド組んだりして演奏活動をしてきました。音楽ができればそれでいい」と考えて、また、ところが、やっていると何か変な感じがする。たとえば、今の社会は不平不満が多すぎます。仕事をしても、やっていると。という人がいます。価値観が狂っているのです。それを僕達が言葉にしてみました。「説教」になっちゃいますね。でもおおかたのコンサートは沢山の器材も必要と聞かなくて、語りたいたいです。人間本来の姿はそとじゃない。」



■今日は寺院コンサートでしたがいかがでしたか。
「年齢層とかいろいろ考えますが、寺院の場合には普通のコンサートと違って環境というところがあります。建物もそうですが、庭なども考えなければなりません。いたすに大きな音、高い音は不要です。大乗寺にはすばらしい庭もあって、音はできるかぎり押えて演奏しました。お寺でのコンサートは沢山の器材も必要という訳でもありません。聞くという雰囲気があります。いいですね。」

■どこで寺院は何色に見えますか。
「本日はグリーンだと思っております。ところが、普通は「白く塗られた」だけを対象としてやっているので、お寺さんだ」といイメージが強く、いくらか坐禅の話をしても振り向こうとしない。特に若い人へ振り向こうとしても「何だお前、坐禅なんか」という雰囲気があると思えない。坐禅が解放されるというですね。もともと音楽なものというんですね。スポーツ的な感覚で動められるというですね。」

■本日は寺院コンサートでしたがいかがでしたか。
「年齢層とかいろいろ考えますが、寺院の場合には普通のコンサートと違って環境というところがあります。建物もそうですが、庭なども考えなければなりません。いたすに大きな音、高い音は不要です。大乗寺にはすばらしい庭もあって、音はできるかぎり押えて演奏しました。お寺でのコンサートは沢山の器材も必要という訳でもありません。聞くという雰囲気があります。いいですね。」

青年会活動の問題点

- ◎役員構成について
 - 全日本仏教青年会といふ大組織を運営する役員構成について探ってみた。規約にある役員は
 - 会長 (一名)
 - 副会長 (若千名)
 - 理事長 (若千名)
 - 副理事長 (若千名)
 - 理事 (若千名)
 - 常務理事 (若千名)
 - 事務局長 (一名)
 - 同次長 (若千名)

全日本仏教青年会の現況を探る③ 12/5・6 比叡山で大結集

全青青も全日仏青の加盟団体ながら、役員、委員の派遣を行なっております。全日仏青の発展を拒む要因をなしていることも認めざるを得ない。過去において全青青からの役員派遣は、第三代会長佐藤泰博氏が副理事長に兼任したのが唯一の実績のようだ。

宗派仏教、地域仏教の枠を越え、仏教青年の真の結集をめざす全日仏青も組織の強化には思い通りにならない。あるのが現実のようだ。それは各仏青が、それぞれの組織の維持運営に全精力を傾け、他に回す余力や人材がないのが最大の原因と思われる。

「今、応えよう、集えよう。菩薩行の推進を求めて...」全日仏教青年代表者会議」と題して、十二月五日、六日の両日、比叡山延暦寺を会場に開き、様々な活動を展開している各仏青の情報を交換し、比叡山の輪を広げるのを今大会の目標としている。

(第一) 我々はいかに手をとり行動すべきか。
(第二) 救援、奉仕活動についていかに連携するべきか。
(第三) 社会教化活動についていかに連携するか。
と連帯、連携の方法をテーマに打ちだしている。

全青青からこの大会に、浅井真澄副会長、神野哲州委員長、伊東和行副委員長、三師が参加し意見交換を行なっている。全日仏青に劣らぬ大組織である全青青の今後の在り方を示唆してくれ、意見が多出た。大いに期待がもてる結果大会である。

今回はこの大会の様子から全日仏青の現況を探ってみることにしたい。(Y)



御樂山再訪記 昨年4月には林道完成

八月十二日の日本航空機墜落事故の一周法要が近づくにつれ、テレビで遺族の現況と墜落事故の様相などを再放送し始めた。アナウンサーは事故を冷静に振り返っていたが、昨年の十月、全青青の二機をいただき現地を慰霊訪問した私には、この番組が人々にとっては思えなかつた。やがて、画面に御樂山の上空撮影が流れ出すと、花束を抱え鈴を鳴し足下を確認しながら登ったことや、現地で聞いた悲惨な話脳裏に浮かんで来て、どうも落ちつかなく、さらに「現場は緑一面にきれいに整備され、徒歩一時間半の登山道」というアナウンスによって再度の訪問を決心して来たのである。

■中央自動車道 諏訪インターから三時間 十月に入ってから早々、実行に移した。現地上野村役場に状況を確認すると道路の工事を行われているが登山は可能とのこと。中央自動車道の諏訪インターを午前八時に通ると29号線を蓼科高原に向かう。秋の観光シーズンには少し早いのであろが比較的確調に道を走ることができた。蓼草峠から八千穂村を経由し南に

りも設けられていた。山肌の露出した危険な箇所は網で保護し落石防止がされ、慰霊者への配慮がされていた。この道は救助の自衛隊員がどのようにも行き通った道と想いと昨年と同じような事故の悲惨さにもやりにやりに気が持たなくなつて来た。一時半の歩きで現場(頂上)に到着。坂本九さんの碑。去年と同じでまわりの紅葉が美しく、また現場は一面に緑のネットが張られ眩しい程であった。立派な慰霊碑も建立されていて、ここで連絡、遺体の発見場所であろうか、細かい番号を書いた案内版が各所に建てられていた。泣きながら石を積む遺族には何も声をかけられなかった。線を帯びて現場を囲っているうちを見つけた。坂本九さんの遺体発見場所なのである。丁度、自衛隊が警察であろう視察に来ていて、直径一メートルの太木が根元から折れていて、「これは異で切れたのです」と説明していた。高校生を押し兼ねて同行させていたが、現場を押すふされたのか口を開かない。改めてこれは現場を感じた。登つていく中不時に現場が展望できるところがある。ここが崩落には最後現場を望むところ。「みかえり峠」と名づけられて遺骸が数本建ちた場所が遺族の気持が手に取るように伝わる。御樂山は親観の美しさに加えて来年には林道も完成し、関東方面からはバスによる慰霊も可能になる。しかし、この山は御霊の宿山でもある。おすたかやまはそういふ「すたかやま」と読み直したいと思つた。

【大阪発着】 【東京発着】 285,000円・275,000円 (全食券付、添乗員同行)

Table with columns for date, departure location, time, and price. It lists travel packages for Osaka and Tokyo departures, including dates like 1月26日 and 1月27日, and prices like 285,000円 and 275,000円.

訪問地 map showing locations in Sri Lanka (Ceylon) like シンガリア, シロン, ヒッコドゥワ, etc. Includes contact info for 全国曹洞宗青年会 and a list of sites to visit like シンガリア, シロン, ヒッコドゥワ, etc.

全青青主催 大本山永平寺貫首 丹羽康芳禅師現下 御巡鑑

第8回 禪文化学林 スリランカ仏教遺跡研修の旅

期日/昭和62年1月26日(月)~2月2日(月) 8日間

全青青設立以来開催して参りましたが、今年で第八回を数えることになりました。前回は釈尊降誕を現代風に脚色した「南くせつ」と花まつりを実施し、大衆教化の接点を身近なものとし、成果を収めた。本年は海外(スリランカ)に学林の道場を設定し、青年宗侶の研修に重点を置いた企画を行いました。研修の地となるスリランカは、僧侶を中心として仏教が民衆の生活に根を下ろし、初代仏教の純度が最も良く保たれた平安の地でありました。私たちはブッダへの熱烈な信仰に生き抜くスリランカ仏教の実践と誇りを垣間見たいと、仏教の原点を改めて認識することを研修のテーマとして考えました。特に今研修には、大本山永平寺貫首丹羽康芳師現下の特別なご慈悲により、現地へのご同行を賜れる大勝縁にあらず。スリランカ事情に最も精通した現地のご親修により、スリランカ政府並びにスリランカ仏教会の交流を図り、親善を深めることとなる今学林の内容は、必ずや満足頂けるものになるものと確信致して奉じます。本会創設以来初めて、貫首現下の御巡鑑を賜れる難値難遇の禪文化学林に、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。 全国曹洞宗青年会 会長 吉岡棟憲

- 一月二十日(日) 全青青理事會 評議員會 (宗務庁)
一月二十一日(月) 二月上旬
二月十日(日) 曹洞宗青年會名簿發行
二月十八日(日) 四國曹青大會
二月下旬(二月上旬) 禪文化学林 反響會
四月五日(日) 東海曹青大會
五月十四日(日) 六十二年度 全青青總會 禪の集い 中央研修會

《後期の予定》等
一月二十九日 十一月二十九日
十二月二十九日
十一月二十九日
十一月二十九日
十一月二十九日

九州曹青 カレンダーを作成
1987 20cm x 44cm 単価 200円 (写真は7枚)
千八五七 佐世保市大宮町 護国寺内 九州曹青事務局